

原子力平和利用・核不拡散研究会主催 第2回国際シンポジウム

「原子力平和利用と核不拡散との調和をどう図るか

ーアジアから原子力開発を考えるー」について

平成 13 年 3 月 6 日

文 部 科 学 省

原 子 力 課

1. 目的

- (1) 本国際シンポジウムは、国内外の専門家の参加を得て、原子力平和利用と核不拡散の問題に関して、国際的な取組・活動の現状と課題、基本的な理念、今後の取組等について議論を行うとともに、これらの議論を通じて、21 世紀の原子力平和利用の推進のあり方について、我が国国民の理解と関心の向上を図るものである。

なお、本国際シンポジウムは、文部科学省の委託事業として(社)日本原子力産業会議に設置された、原子力平和利用・核不拡散政策研究会の主催により実施されるものである。

- (2) 第2回国際シンポジウムにおいては、「原子力平和利用と核不拡散との調和をどう図るかーアジアから原子力開発の将来を考えるー」と題し、核不拡散の3つの柱である「保障措置」、「核物質防護」及び「輸出規制」について、原子力平和利用の推進の観点から議論するとともに、これらの議論を通じて、中・長期的に原子力利用の普及が見込まれるアジア地域の原子力開発の将来の方向性について考察することを目的としている。

2. 日時：平成 13 年 3 月 7 日(水)、8 日(木)

3. 場所：麹町会館(ル・ポール麹町)2階「ロイヤルクリスタル」(300名収容可)
千代田区平河町 2-4-3

4. 主催：原子力平和利用・核不拡散政策研究会(参考参照)
(座長：黒澤 満 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)

5. 形式：国内外からの専門家によるキーノートスピーチ及びパネル討論(日英同時通訳)
(プログラムは別紙参照)

6. 参加費：無料

3月7日 (水)

(プログラムは変更される場合があります。)

開会セッション 9:30-10:40

開会挨拶：黒沢 満 原子力平和利用・核不拡散政策研究会会長、大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
今村 努 文部科学省研究開発局長

開会スピーチ：「日本の原子力長期計画と核不拡散」 下山俊次 日本原子力発電(株) 最高顧問

特別講演：「核不拡散体制の強化ー原子力平和利用推進の動機」 P. ティボー IAEA理事会フランス理事

キーノートスピーチ

第1パネル

10:45-12:00

13:30-14:30

核不拡散レジームと今後の展開

1. 「不拡散体制における米政策」
R. ゴットメラー 米国カーネギー財団上級研究員
2. 「核不拡散体制と2000年NPT再検討会議」
黒沢 満 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
3. 「原子力の必要性和拡散についての誤解」
R. チダンバラ 前インド原子力委員会委員長
4. 「CTBTの米発効状態打開の道を探る」
横田正彦 京都大学大学院法学研究科教授

第2パネル

15:00-17:00

保障措置の将来展望：

現状の解析と今後の方向

1. 「IAEA保障措置の発展」
P. デ・クレーク 国際原子力機関 渉外・政策調整室長
2. 「国際保障措置の見通しーその課題とは何かー」
G. シュタイン ドイツユーリッヒ研究所
システム解析・技術評価部副部長
3. 「保障措置経験と将来展望、そして方向性」
岩永雅之 核燃料サイクル開発機構 国際・核物質管理部長

3月8日 (金)

第3パネル

9:30-11:30

核物質の盗難、密輸の防止策をどのように
確立するか

1. 「不法核密輸への取り組み」
V. オルロフ ロシアPIRセンター所長
2. 「核物質防護ー世界的な核不拡散の重要性の増加」
黒原弘善 核物質管理センター専務理事
3. 「核物質防護ー韓国の現状と国際基準強化に対する国際的努力」
金 和燮 韓国原子力研究所原子力政策部長

第4パネル

13:00-14:40

輸出規制と原子力平和利用の推進：

技術移転と国際規制のあり方を考える

1. 「再出発ー不拡散体制のゼロからの構築」
R. ストラットフォード 米国国防省原子力局長
2. 「多国間輸出管理体制における構造的・機能的脆弱性ー日本の一つの見方」
山本武彦 早稲田大学政治経済学部教授
3. 「原子力開発において我々が直面している問題」
陳 百松 中国核工業集团公司 科学技術・国際協力部上級技師

第5パネル

15:10-16:50

総括セッション：

アジアの原子力平和利用の推進と国際協力
ー核不拡散の制約との調和

- アジアのパネリストからのコメント：
- ・ R. チダンバラ 前インド原子力委員会委員長
 - ・ 陳 百松 中国核工業集团公司 科学技術・国際協力部上級技師
 - ・ 金 和燮 韓国原子力研究所原子力政策部長
- キーノートスピーチ：
- ・ 「アジア核不拡散研究センター構想」
鈴木直治郎 (財) 電力中央研究所 経済研究所上席研究員

閉会セッション 16:50-17:00

閉会挨拶：道野哲也 原子力委員会 委員長代理

海外パネリスト名簿

[パネリスト]

- | | |
|-------------------------------|---|
| P. ティボー
P. Thiebaud | IAEA 理事会フランス理事
Governor for France to the IAEA |
| R. ゴットミュラー
R. Gottemoeller | 米国カーネギー財団上級研究員
Senior Associate,
Carnegie Endowment, USA |
| R. チダンパラン
R. Chidambaram | 前インド原子力委員会委員長
Former Chairman
of Atomic Energy Commission of India |
| P. デ・クラーク
P. de Klerk | IAEA 渉外・政策調整室長
Director,
Office of External Relations and Policy Co-ordination,
International Atomic Energy Agency |
| G. シュタイン
G. Stein | ドイツユーリッヒ研究所
システム解析・技術評価部副部長
Deputy Director,
System Analysis and Technology Evaluation,
Juelich Research Center, Germany |
| V. オルロフ
V. Orlov | ロシア PIR センター所長
Director,
PIR-Center for Policy Studies, Russia |
| 金 和燮
H.S. Kim | 韓国原子力研究所原子力政策部長
Director,
Nuclear Policy Division,
Korea Atomic Energy Research Institute |
| R. ストラットフォード
R. Stratford | 米国国務省原子力局長
Director,
Office of Nuclear Energy Affairs,
U.S. Department of State |
| 陳 百松
B.S. Chen | 中国核工業集团公司 科学技術・国際協力部上級技師
Senior engineer,
Department of Science,
Technology and International Cooperation,
China National Nuclear Corporation |

日本側パネリスト名簿

[パネリスト]

黒澤 満	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
浅田 正彦	京都大学大学院法学研究科教授
岩永 雅之	核燃料サイクル開発機構 国際・核物質管理部長
栗原 弘善	核物質管理センター専務理事
鈴木 達治郎	(財)電力中央研究所 経済研究所 上席研究員
山本 武彦	早稲田大学政治経済学部教授

[その他講演者](出演順)

開会挨拶：今村 努	文部科学省研究開発局長
開会スピーチ：下山 俊次	日本原子力発電(株)最高顧問
開会挨拶：遠藤 哲也	原子力委員会 委員長代理

原子力平和利用・核不拡散政策研究会 委員名簿

平成13年2月9日

(社)日本原子力産業会議

(敬称略・五十音順)

座長	黒澤 満	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
委員	浅田 正彦	京都大学大学院法学研究科教授
	岩永 雅之	核燃料サイクル開発機構国際核物質管理部長
	栗原 弘善	(財)核物質管理センター専務理事
	下荒地 修二	(財)日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター次長
	鈴木 篤之	東京大学大学院工学系研究科システム量子工学専攻教授
	鈴木 達治郎	(財)電力中央研究所・経済社会研究所・上席研究員
	武黒 一郎	東京電力(株)原子力計画部長
	野村 茂雄	核燃料サイクル開発機構環境保全・研究開発センター 先進リサイクル研究開発部長
	山本 武彦	早稲田大学政治経済学部教授
	吉田 文彦	朝日新聞論説委員
オブザーバー	和田 智明	文部科学省研究開発局原子力課長
	竹内 新也	文部科学省研究開発局原子力課国際原子力協力企画官
	加藤 元彦	外務省総合外交政策局科学原子力課長